

の左右に切り込みを入れたもの。

049型式

長方形の材の一端を羽子板の柄状にしているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。

051型式

長方形の材の一端を失らせたもの。

059型式

長方形の材の一端を失らせているが、他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの。

061型式

用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

065型式

用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

081型式

折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

091型式

削屑。

なお、中世・近世の木簡については、以上の型式番号に適合しないものが多いので、註記を省略する場合がある。

一、この凡例は木簡出土事例報告に関するものであり、論文などにおいては、必ずしもこれを用いるものではない。

一、英文目次は天理大学のW・エドワーズ氏にお願いした。

木簡学会役員（二〇〇七・二〇〇八年度）

会長		副会長		委員		監事		評議員	
栄原永遠男	館野和己	鐘江宏之	鷺森浩幸	鈴木景二	鶴見泰寿	馬場基	山本崇	吉川真司	今泉隆雄
田辺征夫	榊木謙周	佐竹昭	角谷常子	寺崎保広	古尾谷知浩	吉江崇	渡辺晃宏	西山良平	岡村道雄
坂上康俊	佐藤信	田熊清彦	土橋誠	山中章	吉川聡			勝山清次	小林昌二
								東野治之	李成市
								山中敏史	
								清水みき	
								小谷博泰	
								佐藤宗諄	
								狩野久	
								石上英一	
								和川南	
								和田萃	